

# わくわくだより

## No.5

周東中校区の学校の取組や小小・小中連携の様子をお伝えする院生だよりです！

R 8 . 7 . 1  
文責：高森小学校  
亀井陽子

今年度、そお小学校では、「学校・地域連携カリキュラム」の取組を「大人と子どもが共に学ぶ場」として位置づけ、キャリア教育の視点を大人と共有しながら振り返ることで、深い学びに変えられるよう、取り組んでいくことにしました。

## 「大人と子どもが共に学ぶ場」第1弾 熟議

5月29日（金）、そお小学校において学校運営協議会が開催され、「大人と子どもが共に学ぶ場」において「身につけたい力・伸ばしたい力」について大人と子どもそれぞれの視点で熟議を行いました。児童（3～6年生）、保護者、地域の方、教職員が混ざったグループで熟議を行い、それぞれの立場から意見を出し合いながら考えました。

グループ熟議では、児童が事前に考えてきた内容と地域の方の考えを付箋で共有し、似ている意見をまとめながら「身につけたい力」を整理しました。地域の方や先生方にグループでの話し合いをファシリテートしていただく予定で用意した進行シナリオでしたが、それをもとに児童が主体的に熟議を進める姿から、複式でのリーダー学習等、これまでの学校での学びが生かされていることを実感しました。



グループ熟議で話し合ったことを、6グループそれぞれが発表しました。グループによっては、地域の方も発表してくださいました。「子どもがあこがれる大人の姿」を見せていただけた一コマでした。

その後の全体での熟議を通して、キャリア教育の基礎的・汎用的能力である「人とのかかわり」「自分自身を見つめる」「課題解決」「将来や生き方を考える」といった視点で整理しました。



最終的に「**今 夢に 立ち上がる そお**」という合言葉が生まれました。この合言葉には

- ・**今**を明るく思う（自分自身を見つめる）
- ・**夢**や目標に向かって**チャレンジ**（将来や生き方を考える）
- ・失敗しても何度でも**立ち上がる**（課題解決）
- ・人や地域（**そお**）を**思う力**（人とのかかわり）

といった思いが込められています。この合言葉が、「大人と子どもが共に学ぶ場」の振り返りの視点となります。

# 「大人と子どもが共に学ぶ場」第2弾

## ようこそ先輩 in そお

6月17日（水）、山口県柳井農林水産事務所の平岡真大さんを迎えた「ようこそ先輩」が開催されました。

この取組は、学校運営協議会委員さんが祖生地域出身者の中から講師を選定・日程調整し、令和5年度から学期に一回行われているものです。地域の方や保護者の方も自由に参加することができ、まさに「大人と子どもが共に学ぶ場」となっています。



平岡さんは、現在も祖生地域に住んでおられ、田んぼの管理をしながらお勤めされています。

講話では、平岡さんの仕事内容や児童へのメッセージを、スライド資料を用いながらわかりやすく説明してくださいました。

### 先輩から子どもたちへ「3つのメッセージ」

- 1 ふるさとを誇りに思ってもらいたい
- 2好きなことを続けてほしい
- 3 たくさんの人と出会い、友情を大切に

特に印象的だったのは、振り返りの場面での地域の方からの発言です。

平岡さんが小学3年生の時の弁論大会で「将来の夢は農家」と発表していたエピソードを紹介され、「まさか本当に夢をかなえるとは思わなかった。地域の農業を支えてくれる人が、この（そお小学校の）中からも育ってくると嬉しい」と温かいエールを送られました。

児童からも「私も米農家になりたいです。田んぼのことをいろいろ知ることができてよかったです。」という頼もしい振り返りがありました。

地域の方の発言は、合言葉の「人や地域（そお）を思う力（人とのかかわり）」、児童の発言は「夢や目標に向かってチャレンジ（将来や生き方を考える）」にあたりと考えられます。地域の大人たちと子どもたちが思いを共有する貴重な場となっていました。

今後もそお小学校での「大人と子どもが共に学ぶ場」の取組をお知らせしていきます。